

主な記事  
2・3面 さようなら原発9.23全国集会  
都本部現業セミナー  
コラム 未来をひらく『統一闘争』、その意義と目的とは  
都本部民間協23区ブロック「新入組合員歓迎交流会」  
4面 私のおすめ(のぞみの郷ユニオン 執行委員長 百瀬 ふじ乃)  
第28回ベストショットコンクール

# 自治労東京

千代田区飯田橋3丁目9番3号  
SKプラザ4階  
電話 03-3556-3755  
自治労東京都本部発行  
企画総務局  
責任者 松村 誠治  
編集者 西岡 芳宏  
1部10円(但し組合員は組合費に含む)

## 都本部第51回 中央委員会

# 7つの重点課題で当面の闘争方針を確立 組合員の声を集め賃金確定闘争へ

都本部は、9月27日、第51回中央委員会をウェブにて開催し、中央委員80人(うち女性中央委員29人)が参加した。2025賃金確定闘争や第6次組織強化・拡大計画の推進などを柱とした「当面の闘争方針」、都本部「ジェンダー平等推進アクションプラン」など、6議案が審議され、すべての議案が圧倒的多数で承認された。

本中央委員会は、中央委員はZoom、傍聴者はYouTubeを用いた全面ウェブにて開催された。冒頭、松村中央執行委員長は「第27回参議院選挙で岸まさきが2期目の当選を果たした。皆様のご支援に感謝申し上げます。一方で得票数は目標に届かず、組織力が問われる結果となった。政治は公務員の賃金や公共サービスに直結し、国政だけでなく地方議会にも

友好議員を送り出すことが不可欠だ。人事院勧告の3%超引き上げは評価するが、再任用職員の時金改善がなかったのは極めて遺憾である。自治労第99回定期大会では財政構造改革が大きなテーマとなり、組合員減少や財源再配分の課題が共有された。都本部は第6次組織強化拡大計画に基づき、2027年までの4年間を組織拡大の正念場と捉え、取り組みを強化して

いく」と述べた。続いて、岸まさき参議院議員と鬼木まこと参議院議員からビデオメッセージで連帯の挨拶が寄せられた。岸議員は、自治労が直面する課題は多岐にわたる

が、今年の人事院勧告で世代への賃金配分は評価できる一方、現場では会計年度任用職員の週及問題や指定管理者労働者の賃金、公的病院の赤字経営など未解決課題があると強調した。現場の声を反映しつつ、地域住民の暮らしを守るため労使交渉を後押しすべく、国会での取り組み強化を示した。現在、国会は閉会中で給与改正案の審議時期が不

透明なため、自治労本部と連携して法律成立をめざすとともに、単組の労使交渉や条例改正の推進を促すため、総務省に対して強く要請していく意向を示した。鬼木議員は、岸まさきの再選が自治労および公共サービスの大きな希望をもたらすと評価した一方で、立憲民主党は厳しい選挙結果となり、改憲勢力が参議院で3分の2を占めたことは

重大な課題であると述べた。また、復古主義的政党の支持拡大に強い危機感を示し、そうした政党が支持を獲得する土壌について分析する必要性を述べた。さらに自民党総裁選のフルスベック型での開催は政権争い優先の表れであると見解を示しつつ、引き続き与党と対峙し国民の命と暮らしを守るため全力で闘う決意を表明した。

都本部は2026年3月開催の第75回定期大会までの当面の闘争方針として、統一闘争(賃金確定、人員確保・現業統一、2026春闘)への結集、組合員の声を反映した労働条件改善、



▲都本部第51回中央委員会の様子。Zoomを通じて多くの中央委員が参加し、議案の審議と承認がスムーズに進められた。

都本部は、非現業職員(一般行政職)・現業職員(技能労務職)一体となった人員確保を進めるため、人員確保闘争と現業統一闘争を同時に展開する通年闘争としている。その上で自治体の採用計画策定期の6月を第1次、採用決定前の10月を第2次の交渉のヤマ場として集中的に取り組みを進めている。2025人員確保闘争・現業統一闘争(第2次)では、これまでの交渉や到達点を踏まえ、通年闘争のヤマ場として交渉を構え、人員確保にむけた労使交渉を進める。

2025年度は、多くの組合員から人員確保を求める切実な声に基づき、春闘【3月】、人員確保闘争・現業統一闘争(第1次)【6月】、ジェンダー平等推進闘争【6月】において、労働時間の縮減、各種休暇制度を誰の負担もなく活用可能となる「業務量に見合う人員配置」により、すべての人が働きやすい職場へ

ついで、集中的に交渉を進める。また、委託費の高騰による入札不調や事業者変更などのトラブルは、業務負担も去ることながら、公共サービスの停滞を招き、住民の不利益に直接的に繋がる。「何も起きない」ことを前提とせず、平時から、「何か起きても対応可能」な備えをすることが重要である。

都本部は基本的目標として「住民の未来に貢献できる、自治体責任による質の高い公共サービスの確立」を掲げている。この闘争期における交渉を契機として、各単組において、現業職員の不補充によって生じる影響、将来的な公共サービスのあり方について、自

## 2025人員確保闘争・現業統一闘争(第2次) 「業務量に見合う人員配置」で、すべての人が働きやすい職場へ

都本部は、非現業職員(一般行政職)・現業職員(技能労務職)一体となった人員確保を進めるため、人員確保闘争と現業統一闘争を同時に展開する通年闘争としている。その上で自治体の採用計画策定期の6月を第1次、採用決定前の10月を第2次の交渉のヤマ場として集中的に取り組みを進めている。2025人員確保闘争・現業統一闘争(第2次)では、これまでの交渉や到達点を踏まえ、通年闘争のヤマ場として交渉を構え、人員確保にむけた労使交渉を進める。

### 現業の直営堅持と再公営化を

現業統一闘争は、現業職場の直営堅持、現業職員の新規採用、委託化済みの現業職場の「再公営化」など、6点の重点課題を設定した。地震や風水害などの自然災害が頻発するなか、現場の職員には臨機応変で迅速かつ適切な判断が求められる。そして、地域特性や状況把握などの現場知識と現場感覚は日々の業務を通じて蓄積される。自治体職員(公務員)意識に基づく責任感も極めて重要だ。こうした現場における蓄積はマニュアルのみで対応できるものではなく、人から

人へ継承する他ない。また、委託費の高騰による入札不調や事業者変更などのトラブルは、業務負担も去ることながら、公共サービスの停滞を招き、住民の不利益に直接的に繋がる。「何も起きない」ことを前提とせず、平時から、「何か起きても対応可能」な備えをすることが重要である。

| ＜闘争スケジュール＞ |                   |
|------------|-------------------|
| ●要求書の提出基準日 | 9日22日(月)～10月2日(木) |
| ●回答指定日     | 10月3日(金)          |
| ●交渉ゾーン     | 10月3日(金)～16日(木)   |
| ●統一行動日     | 10月17日(金)         |

| お詫びと訂正                                       |                        |
|----------------------------------------------|------------------------|
| 本紙第1375号(9月1日号)1面・人事院勧告の記事に誤りがあり、お詫びして訂正します。 |                        |
| ●リード文4行目                                     | (誤) 配分は中高年層も含め9,500円以上 |
| (正) 配分は中高年層も含め8,300円以上                       |                        |
| ●本文3段目19～21行目                                | (誤) 中高年層も含め9,500円以上    |
| (正) 中高年層も含め8,300円以上                          |                        |
| 再任用職員は8,500円以上                               |                        |
| 再任用職員は8,300円以上                               |                        |

## 東奔西走

受験や資格試験で深夜まで勉強をしたが、点数が思ったほど伸びなかったという経験は多くの方がしているだろう。最新の脳科学ではその答えが明らかにされている▼日中に学習した情報は、まず脳の海馬という司令塔に一時保管されている。そして私たちが眠っている間に、脳はこの情報を再生し、整理整頓を行っている。動物実験では、迷路を学習したラットが、睡眠中に学習時と全く同じ神経細胞を活動させ、起床後に学習した迷路を短時間で走破することが観察されている。

これは、脳が睡眠中に記憶を何度も復習している証拠である。このプロセスを経て、情報は海馬から大脳皮質へと移され、長期的な記憶として刻まれる▼睡眠時間を削ることとは、この大切な整理の時間を奪い、学びを水の泡にしてしまう。言い換えると記憶を脳に定着させるには、睡眠が不可欠といえる。忙しい時こそ、しっかり眠る。それが記憶力と再現性を高め、仕事の質を向上させる最善の方法と言える。(西岡)





●出身県 東京都  
●組合歴 2024年5月～ 執行委員長

私は現在、特別養護老人ホームで管理栄養士として勤務しながら、組合の委員長を務めている。普段は裏方として現場を支える仕事が多いが、昨年組合を結成し自治労に加盟したこと



## 『手料理にちよつとした工夫を』

のぞみの郷ユニオン 執行委員長

百瀬 ふじ乃

別なものではなく、冷蔵庫にある余り物を組み合わせたり、旬の野菜をシンブルに味わったりする日常的な工夫だ。実はこれがなかなか奥深く、思わぬ組み合わせからおいしい一皿ができあがることもある。料理を工夫する魅力は、ただ食べるだけでなく「誰かに喜んでもらえる」点にあると思う。家族や友人の「おいしい」の一言で疲れも吹き飛び、栄養士として利用者に少しでも満足してもらえ食事を届けたいと



シネマジャーナル  
編集者 穂雲 萌

## 『キス・ザ・フューチャー』

監督…ネナド・チチンIIサイン

### 音楽が分断された人々をつないだ



●2025年9月26日(金)  
キノシネマ新宿(☎03-5315-0978)、  
kino cinema立川高島屋S.C.館(☎042-512-5162)ほか全国順次ロードショー  
©2023 FIFTH SEASON, LLC. ALL RIGHTS RESERVED

1997年9月23日、U2が過去を忘れて、未来にキスを、サラエボ万歳!という4万5千人を集めサラエボで行ったライブは、今も語り継がれている。かつてサラエボの人々は民族・宗教に関係なく共存していたが、ボスニア・ヘルツェゴビナ紛争は人々を引き裂いた。このライブは、銃弾が飛び交う危険なボスニア・ヘルツェゴビナ紛争中、サラエボ紛争(サラエボ包囲)は、1992年4月5日から1996年2月29日まで続いた。セルビア人勢力による包囲と攻撃が続く中、サラエボに住む若者たちは解放を求め、夜な夜な地下で行われていたパンクロックライブに熱狂していた。彼らにとって戦争や人権など社会的なメッセージを発信していた世界的アーティストU2は憧れの存在だった。そんな中、アメリカの援助活動家ビル・カーターは「戦争中のサラエボにU2を呼びたい」と彼らをサラエボに招くことを思いつ

## Best Shot!! 第28回 ベストショットコンクール

### 一部門

- ◎部門① テーマ「想い」「輝き」「希望」
- ◎部門② テーマ「ネイチャー」

- ◎写真1枚につき、上記のテーマから選んでください。
- ◎各テーマ 1人3点まで
- ◎どちらの部門も、カメラ・スマートフォンでの撮影媒体は問いません。

### 一応募資格

- ◎自治労東京組合員・退職者会会員であること。

### 一応募

- ◎応募(記載事項)などに関する詳細については、右記のQRコード「自治労東京HP」をご確認ください。



### 一表彰

- ◎入賞作品は「自治労東京2026年新年号」と「自治労東京HP」に掲載し、以下の商品券をプレゼントします。

- ◎最優秀賞 1点(両部門を通じて)……5万円の商品券
- ◎優秀賞 各部門1点(計2点)……2万円の商品券
- ◎佳作 3点……5千円の商品券
- ◎特別賞 1点……5千円の商品券

### 一送付先

自治労東京都本部 企画総務局宛 TEL: 03-3556-3755  
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-9-3  
SKプラザ4階

Eメール: kikakusoumu@jichiro-tokyo.jp

- ◎自治労東京へ郵送とデータで応募を受け付けします。
- ◎作品の返却はしませんのでご了承ください。

応募締切 12月3日(水) 必着



昨年の最優秀賞「彩華線乱」/練馬区職労 小城原 淳さん

## この特典は、組合員である「あなた」だけのもの



日立の家電製品を自治労東京組合員に  
特別価格でご提供  
専用サイトからお気軽にお求めいただけます



パスワード「tohonbu」